

1 菅線に関する検討

検討の方向性

- ・上林線と菅線は、信州中野駅からイオン中野店前まで同一区間で運行している。
- ・また、沿線住民の買い物利用(イオン、ツルヤ)と通院利用(中野市内医療機関)に対応しており、同じ役割を担っている。
- ・上林線は観光利用(野猿公苑)にも対応

- ・両路線は重複していると認められる。
- ・バス運転手不足や利用状況も考慮し、**沿線住民の利便性を確保した上で、菅線を廃止する。**

沿線住民の利便性の確保策(案)

- ・上林線の一部路線変更による対応を検討 (長元坊団地～信州中野駅間の移動の確保)
- ・楽ちんバス、チョイソコやまのうちの活用等による対応を検討
(菅～湯田中間の移動の確保)

上林線と菅線、長野電鉄の重複について

2 上林線に関する検討

検討の方向性

- ・上林線と長野電鉄は、信州中野駅(圏域拠点)と湯田中駅(地域拠点)を結んでいるが、経路は異なる。
- ・上林線は沿線住民の買い物や通院の需要を取り込んでおり、長野電鉄と役割が異なる。
- ・上林線を廃止した場合でも、品質の保証は維持されるものの、沿線住民の利便性は著しく低下する。
- ・代替路線として1路線を分割して運行すると、経費と人員体制が非効率
- ・菅線廃止を検討しており、同時期に上林線を廃止すると影響が大きい。



上林線については特別な事情があるものとして幹線として存続させ、県の新しい支援制度の対象とする。

3 今後の対応の方向性と取組

- ・3路線の重複については、菅線を廃止により当面の対応とする。
- ・今後も利用状況等を継続して調査し、上林線、長野電鉄両路線を存続させるべきかどうか確認する。

上林線と菅線、長野電鉄の重複について

4 今後のスケジュール(案)

令和8年1月～3月中旬	菅線廃止検討に係る関係者、住民等への説明、代替手段検討に係る意見徴取等
2月25日	菅線の廃止の方向性について合意（北信地域別部会）
3月末頃	菅線廃止後の代替交通手段の確定
4月頃	中野市・山ノ内町地域公共交通対策協議会、運賃協議会 ・菅線の廃止を決定 ・代替手段の決定
5月	事業計画変更認可申請（菅線廃止）提出 運行計画変更届（上林線、コミュニティバス）提出
9月30日	菅線を廃止
10月1日	代替交通手段の運行開始